

●河川の役割

治水・・・水を治める

河川は雨水を流す重要な施設であり、洪水などの自然災害からまちを守っています。

利水・・・水を利用する

水道水や農業用水としての貴重な水源となっています。

環境・・・川と共に暮らす

まちを水や緑でうるおし、自然環境と一体となったまちづくりに貢献します。

●岩手の河川

級別	法定河川				準用河川			摘要
	水系名	所管別	河川数	指定延長(m)	水系名	河川数	延長(m)	
一級	北上川	大臣	16	291,530.0	北上川	256	522,837	法定河川の国土交通省大臣管理河川数16本中14本は知事管理河川と重複しています。 準用河川は、盛岡市長ほか32市町村長が河川法第100条第1項の規定に基づいて指定し、管理しているものです。
		知事	179	1,503,990.3				
		小計	181	1,795,520.3				
	米代川	大臣	6	43,532.0	米代川	4	6,640	
		知事	6	43,532.0				
馬淵川	大臣	19	304,244.0	馬淵川	56	159,470		
	知事	19	304,244.0					
計	大臣	16	291,530.0	計	316	688,947		
知事	204	1,851,766.3						
二級	気仙川ほか44	知事	106	977,173.0	その他	223	624,235	
		小計	206	2,143,296.3				
合計		大臣	16	291,530.0	合計	539	1,313,182	
		知事	310	2,828,939.3				
		小計	312	3,120,469.3				

●いわての川づくり三つの理念

21世紀を迎えた今、私達は人と自然との共生を目指し、自然豊かな県土を、そしてその母なる川を県民の皆さんとともに考え、協力しながら子孫に残していかなければなりません。

県では、こうした考えに立ち、川づくりの基本理念やその実現のための方策等を「いわての川づくりプラン」として、懇談会委員の方々のご協力を得て、平成8年7月に策定しました。

今後も、以下の3つの「いわての川の望ましい姿」を目指して、県民の皆さんとともに考え協力して川づくりを行っていきます。

い

のちを育む私たちの川

わ

が子と楽しむイーハトーブの水辺

て

んの恵み溢れる水回廊

- ・清らかな水が豊かに流れる川
- ・地域の活性化に貢献する川
- ・災害に強い川

- ・遊びやスポーツのできる川
- ・歴史・文化の香り高い川
- ・教育の場を提供する川
- ・人にやさしい川

- ・生物と共生する川
- ・原風景に調和した川
- ・森の恵み豊かな川

●理念を確かなものに

・住民の共通の視点に立って（行政対応の変革）

住民の視点に立って行政を進め、住民の意見を川づくりに反映させる必要があります。

・住民も努力します（住民の参加と協力）

私たち住民も、河川に対する理解と関心を高め、河川の清掃などのボランティア活動に参加することが大切です。

・ともに歩みます（行政と住民の連携）

行政と住民とがパートナーシップを結び、対話や情報交換を行っていかねばなりません。

・ともに考えます（調査研究の推進）

行政・民間・大学等が共に協力して調査研究を行い、その結果をモデル河川等で実施していくことが望まれます。

●岩手県のダム事業

岩手県では、県民が快適で安全に暮らせる社会実現のため、治水・利水を目的としたダム建設を進めるとともに、自然環境や地域の歴史・文化と調和した「地域に親しまれる」ダムの建設を目指しています。



鷹生ダム(平成18年度完成)



早池峰ダム(平成12年度完成)

岩手県では、8つのダム(遠野ダム、滝ダム、綱取ダム、入畑ダム、日向ダム、早池峰ダム、綾里川ダム、鷹生ダム)を管理しています。

また、3つのダム(築川ダム、津付ダム、遠野第二ダム)の建設事業を実施しています。

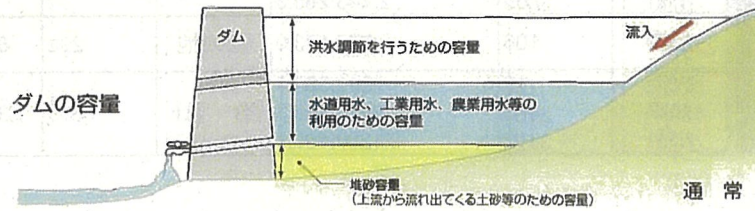
ダム位置図



	補助ダム	直轄ダム
管理中		
建設中		

◎生活貯水池事業

●ダム事業の目的



洪水被害の軽減

ダムで洪水を調節することで、ダム下流への流量を少なくし、洪水の被害を軽減します。

河川流量の安定化

河川の水が少ない時期にダムの貯留水を河川に補給することで、既得用水、河川の水質保全、魚類の生息等に必要な流量を確保し、安定的な取水や河川環境の保全を図ります。

水道用水・工業用水等、発電

水道用水や工業用水(都市用水)等、新たに必要となる水需要に対し、河川の水が少ない時期でもダムの貯留水を利用することで必要な水量を確保し、暮らしや産業を支えます。また、ダムの落差を利用して、発電を行います。

●快適空間としての利活用

近年、ゆとりとうるおいを求める国民の声が高まっています。ダム湖及びその周辺が、レクリエーションや教育の場、またやすらぎと憩いの場として、広く人々に利用されるよう周辺の整備を行っています。



■花いっぱい運動
(「綱取ダムの清流と環境を守る会」による花壇整備)



(鷹生ダム上流「ひころいち広場」)



(早池峰ダム下流広場)

■ダム周辺の整備